

事業概略書

若年認知症のケアおよび社会的支援に関する研究事業
社会福祉法人 仁至会 （報告書A 4版1頁）

事業目的

若年認知症について、医療機関、介護福祉施設・事業所、行政機関、地域包括支援センター、企業等を含め、広く社会へ問題を提起していく上での根拠となる基礎的なデータを収集するため、実態調査を行う。

さらに若年認知症に対して、医療面の対応はもちろんのこと、本人と家族に対する社会的・心理的支援、特性に合った介護サービスの開発等、生活全般を支えるしくみが必要である。このために質問紙調査やインタビューを行い、さまざまな支援ニーズを抽出・分析し、支援の内容や方法、解決すべき課題について検討することを目的とした。

事業概要

1. 愛知県における若年認知症の実態調査を行った。
2. 若年認知症の本人と家族の必要とする支援に関するニーズ調査を行った。
3. 若年認知症を含む障害者の支援に必要な制度とサービスに関する調査を行った。
4. 「若年認知症事例集」の作成
5. 報告書の作成

事業結果

愛知県の医療機関、介護福祉施設、行政機関等から、回答を得て、若年認知症の実態を調査した。推計人数、原因疾患、ADL, BPSD の程度、就労状況、介護サービスの利用状況などを明らかにした。

若年認知症の本人と家族を対象に、医療の支援状況に関する現状と必要な支援を探索するとともに、本人の QOL、介護者の介護負担等についての現状を把握した。これらの結果を踏まえて、「若年認知症事例集」を作成した。

若年認知症、高次脳機能障害、精神障害者等を含めた障害者への支援として、現在行われている取組、所得保障や職業確保・家族ケアなどの既存の制度やサービス、

不足していること、必要な支援の方法等を明らかにした。今後の制度整備やサービス供給の課題が示された。

事業実施機関

認知症介護研究・研修大府センター

〒 474-0037 愛知県大府市半月町三丁目 2 9 4 番地

TEL 0562-44-5551